

# 鐵筋混凝土造猿橋水道橋工事報告書

計  
議

土木學會誌 第一卷第二號 大正四年四月

工學博士 廣 井 勇

猿橋ハ古來我國名所ノ一ニ數ヘラレ桂川ノ沿岸形勝ノ地少ナカラスト雖モ猿橋ヲ以テ最トス最近東京電燈用水力工事ノ爲メ該地ニ架橋スルニ當リ現存セル極メテ平凡ナル鐵道橋ニ倣ハス混凝土拱ヲ以テセルハ著者ノ設計ソノ當ヲ得タルモノナリト謂ハサル可カラス蓋シ此種構造ノ自ラ水路橋ニ適スルハ勿論該地兩岸ノ地質ハ其儘ニシテ拱ノ築造ニ耐ヘ全體ノ構造ハ能ク一般地勢ト調和セルヲ以テナリ

- 本工事ノ設計及施設ハ其範ヲ最新ノ方法ニ則リ而モ注意周到ニシテ殆ント間然スル所ナキカ如シ若シ本說中強テ疑問トナスヘキモノヲ舉クレハ左ノ諸點モ亦タ其中ニアルヘシ
- 一 計算書中外力ノ算出ニ軸應力ノ作用ヲ無視シ得ヘカリシ立證ヲ缺ケルコト
  - 二 仕様書中洗砂ヲ指定スルヨリハ泥土ノ最大量ヲ定ムルニ如カサラン
  - 三 混凝土ヲ繼キ足スニ單ニ既設部ノ面ヲ洗フノミニテハ不充分ナリトスル場合ナキヤ
  - 四 混凝土體中ニ膠泥ノ一部ヲ造成スルハ全體ノ等性ヲ缺如セシムルノ不利アルコト
  - 四 使用鋼材ノ試驗表ニヨレハ伸長度ニ甚シキ高低アリ其標準明確ナラサルコト
  - 六 本工事ノ重要品タルせめんとノ品質ニ關シテハ說述セル所ナキコト